

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 保険年金課

施策名	30 医療保険
政策名	安心な「暮らし」を守る
施策がめざす将来の姿	・全ての人が安心して医療を受けられるため、健康に過ごすことができます。

2 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標
特定健診受診率	%	35.3	60.0
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	31.4		

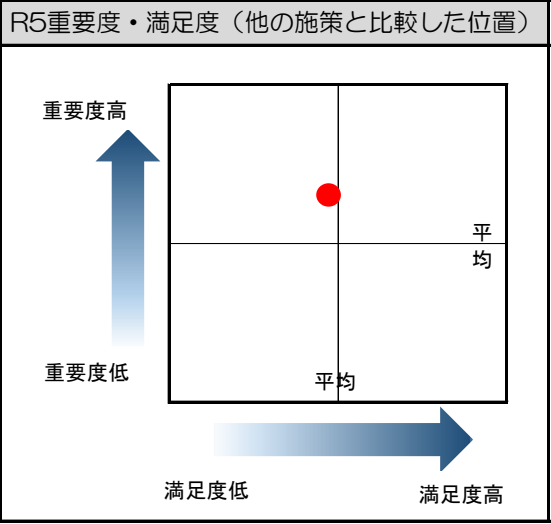
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標
ぎふ・さわやか口腔健診受診率	%	2.1	6.0
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	5.0		

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和5年度
98.5

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和4年度		令和5年度
81.7		86.0

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

- ・特定健診受診率は、新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響により減少しています。
- ・特定健診の受診により、生活習慣病等を早期に発見し、病気予防や健康意識を高めることが、将来の医療費の抑制に繋がります。
- ・受診率の向上のために休日健診の継続実施や、健診の必要性等をわかりやすく周知して、引き続き啓発に取り組んでいきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：特定健診受診促進事業

R5決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
1,604	受診啓発事業	↗	↗	受診勧奨ハガキ等による対象者を階層化した個別アプローチを継続するとともに、医療機関との連携強化を行うことで特定健診の受診率向上に取り組みます。今後も効果的な特定健診受診促進事業について検討していきます。	○

事務事業名②：被保険者健康づくり事業

R5決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
5,258	人間ドック助成	→	→	国民健康保険被保険者の人間ドック受診費用を助成することで受診者数の増加を図り、被保険者の健康意識の向上、病気の早期発見による医療費の削減につなげていきます。	○